

2015年4月24日から発生した羅臼町での海岸隆起現象の調査

2015年4月24日午前中から羅臼町幌萌町の海岸で海底が隆起していることに地元の方が気づき報道がなされた。現地は地震調査研究本部が活断層とする標津断層帯古多糠セグメント最東端部にあたることもあり、地震や火山活動との関連性の有無を調査するために現地調査を25日に実施した。

北見工業大学山崎新太郎先生（応用地質学）との共同調査の結果、隆起域の背後において明瞭な滑落崖等が認められたため、地すべりによる現象であることが確認され、地震や火山活動との関連がないことが明らかになった。現地調査では舟木商店の舟木清一社長・濱名秀一さんに大変お世話になりました。記して感謝の意を表します。

調査報告レポートを以下からご覧になれます。

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/~hiroaki/rausu/rausu.htm>

(写真1) 海底が隆起した現場



(写真2) 地すべりを示す滑落崖

